関芳弘文部科学大臣記者会見録（令和8年10月30日）

https://www.mext.go.jp/b_menu/daijin/detail/mext_00747.html

記事ページ本文

関芳弘文部科学大臣記者会見録（令和8年10月30日）
令和8年10月30日(金曜日)
教育、科学技術・学術
キーワード
多様な社会人経験を有する人材に向けた教職課程の創設と教師としての資質能力を保障する制度設計、東京大学総長選考を巡る文科省からの検証要請が国立大学全体の委縮を招くとの懸念に対する見解、東大教職員有志が提出した総長選考に関する再質問書の受け止めおよび説明責任が果たされたとする判断の基準、「よこすか」の老朽化を踏まえた「超深海探査母船」の新造、デジタル教科書のサイバーセキュリティ事案発生時の対策、日独首脳会談の成果文書において放射光科学分野での協力の進展が記載された意義およびその他重要分野における協力への期待
関芳弘文部科学大臣記者会見映像版
令和8年10月30日（金曜日）に行われた、関芳弘文部科学大臣の記者会見の映像です。
令和8年10月30日関芳弘文部科学大臣記者会見（※「YouTube」文部科学省動画チャンネルへリンク）
関芳弘文部科学大臣記者会見テキスト版
後日、アップロードします。
ページの先頭に戻る
お問合せ先
大臣官房政策課広報室
（大臣官房政策課広報室）
ページの先頭に戻る
文部科学省ホームページトップへ

関芳弘文部科学大臣記者会見録（令和8年10月30日）
YouTube字幕

https://www.mext.go.jp/b_menu/daijin/detail/mext_00747.html

YouTubeの日本語字幕

【YouTubeの日本語字幕・公式会見録ではありません】

会見ページ: https://www.mext.go.jp/b_menu/daijin/detail/mext_00747.html

字幕本文をそのまま掲載しています。自動生成字幕には誤認識が含まれます。数字・固有名詞は公式会見録と照合してください。

動画: https://www.youtube.com/watch?v=8FWteZynFyY

字幕の種類: YouTube自動生成字幕

取得日時: 2026-10-30T09:39:11.548022+00:00

[00:00:00] 今日は冒頭私からの発言はございません。はい、
[00:00:04] ありがとうございます。では、あの、患者から
[00:00:06] 1
[00:00:06] 番質問させていただきます。教員年の新しい所グルートについてお伺いいたします。職家過家庭より収支出ない社会人が大学院で最大
[00:00:16] 1
[00:00:16] 年間なれば勉強を取得できるようにする家庭の概要は中教心の部解でしされました。
[00:00:22] この制度についてSNSなどでは短期間で
[00:00:25] 免許できるようになれば損失が低下するの
[00:00:27] ではないかというところも見られているん
[00:00:29] ですけれどえっと従来の教職家程とは
[00:00:32] 異なる年をあたにおきますえっと設けるを
[00:00:35] 教また機関や体数が従来とは異なる中でも
[00:00:40] として必要な質とか能力をどのように確保
[00:00:43] して従来のルートと比べてもあのような
[00:00:46] 仕組みにしていくのか大臣のお考えをお
[00:00:48] 願いいたします。はい。え、現在中央教育
[00:00:53] 審議会におきまして、え、多様な専門性を
[00:00:56] 持った人材が教師となるための法策をご
[00:00:59] 議論いただいておりまして、え、その中で
[00:01:02] 、え、社会人として経験を踏まえて大学院
[00:01:05] の1年程度の学習を通じて、え、協議免許
[00:01:10] を取得できる現場での実践的な学習を中心
[00:01:14] とした新たな教職家程を創設する方向でご
[00:01:18] 提案をいただいていると承知をいたして
[00:01:20] おります。一方で、え、教師として働き
[00:01:24] 働いていただくには、ま、児童政党に対応
[00:01:27] できる支出能力を身につけていただくこと

[00:01:29] が、ま、不可欠でございます。え、その
[00:01:32] 支出能力を身につけることのできる設計と
[00:01:35] することも重要であるとご意見もいただい
[00:01:39] ていると承知をいたしております。で、
[00:01:41] 文部科学省といたしましては、中央教育
[00:01:45] 審議会における議論やあ、国民の皆様の
[00:01:49] お声も踏めまして多様な人材が教師として
[00:01:52] の支質能力を持って働き、持って働ける
[00:01:56] 環境を整えるために必要な改革を進めて
[00:02:00] いこうと考えております。はい、以上で
[00:02:03] ございます。ありがとうございます。それ
[00:02:06] では各者さん質問お願いいたします。の際
[00:02:08] は名使名を直からお願いいたします。
[00:02:11] はい、どうぞ。
[00:02:16] あ、入り新聞と申します。
[00:02:19] え、東京大学の早朝戦闘についてお伺いします。
[00:02:22] え、文科省からあの検証以依頼があったかと思いますが、国立大学全体の学長先行に関して意思考との声も上がっていますが、文化科としてのお考えを教えてください。
[00:02:34] また先行改議に対して、あの、今週
[00:02:37] 27
[00:02:37] 日、あの、え、ま、元々検証を求める報書を提出していた東京大学の教職員有の方々が、あの、再質問書を提出しました。大臣のお受けをお伺いします。
[00:02:38] [鼻息]
[00:02:49] はい。
[00:02:54] え、今回の検証以来は、え、早朝先行に
[00:02:58] ついて学内外において、え、多くの疑問の
[00:03:02] 声が上がりまして、学内の教職員、え、有
[00:03:07] 、あ、学内の教職員有資からも説明を
[00:03:10] 求める要望書が提出されます中で、え、私
[00:03:15] 口からも法人として説明責任を果たすこと
[00:03:19] が重要である胸、え、繰り返し述べてき
[00:03:23] ました。で、なお先行家程、え、や、え、
[00:03:29] 先行理由について明確な、あ、説明がまだ
[00:03:33] なされていないとの声も上がってること
[00:03:38] から法人の自立的なプロセスを促しまして
[00:03:41] 、え、自ら説明責任を破していただくべく
[00:03:45] 行ったものでございます。で、客観的な
[00:03:49] 事実といたしましても、平成の16年、え
[00:03:53] 、法人会以降本年10月20日までに行わ
[00:03:57] れました568件の学長先行がありました
[00:04:02] けれども、そのうち移行投票の結果と
[00:04:05] 異なる先行を行いましたのは現時点では
[00:04:09] 文務科学省が把握している限り41件。
[00:04:14] え、そこの移行投票が2回行われて2回の
[00:04:19] いずれにおきましても第1位の候補が
[00:04:23] 先候補
[00:04:24] の2倍以上の特票を得てかつ2回目の移行
[00:04:29] 投票において第1位の候補が過半数を獲得
[00:04:32] していることをこのような3つの要素を
[00:04:35] 全て有しているおりますのは今回の東京
[00:04:38] 大学の選行のみでございましてより高い
[00:04:42] 説明責任が求められていると考えてる
[00:04:46] ところでございます。え、なお本年6月に

[00:04:49] 行われました京都大学の総朝先行におき
[00:04:53] ましては、え、先行結果の公表に際しまし
[00:04:56] て、え、当該候補者の経歴やそれを踏まえ
[00:05:00] た国際卓越研究大学控訴の達成のための
[00:05:05] 実行力という最終的な判断材料を具体的に
[00:05:10] 、え、指名した上で早朝先行観察会議の
[00:05:13] 委員の前回一致で決定された旨が示されて
[00:05:17] おります。また客観的な事実といたしまし
[00:05:22] ても意投票の実施は1回のみでございまし
[00:05:26] て、その結果における特票差も東京大学
[00:05:30] ほど大きくありませんでした。え、文部
[00:05:33] 科学各といたしましては京都大学の早朝
[00:05:36] 選行について検証をお願いすることは考え
[00:05:39] ていないところでございます。国立大学
[00:05:44] 法人のガバランスの基本原則でございます
[00:05:47] 。国立大学法人ガバランス。これを踏まえ
[00:05:51] ましてですね、本来東京大学が自ら主体的
[00:05:56] に、え、説明責任を果たすべきところ、
[00:06:00] 残念ながらそのような対応が難されてい
[00:06:02] ないため事実的な検証を依頼したともので
[00:06:07] ございまして、その趣旨は10月21日に
[00:06:11] 行われました国立大学協会の理事が集まる
[00:06:14] 会議でも部学省より丁寧に説明を行った
[00:06:18] ところでございまして、え、各大学が移縮
[00:06:21] するようなことは生じないものと考えてる
[00:06:24] ところでございます。で、また10月27
[00:06:27] 日に学内の教職員有資から東京大学の早朝
[00:06:32] 選行観察会議及び幹事当てに、え、今般の
[00:06:37] 早朝行に関して先行流の説明を求めるべく
[00:06:41] 再度を質問を行う文書が提出されたと承知
[00:06:47] をいたしております。で、今回の再質問の
[00:06:50] 文書の内容は重要な指摘を含むもので
[00:06:53] ございまして、東京大学の早朝選行観察
[00:06:57] 会議におきましては真摯に受け止めて
[00:07:00] いただいて説明責任を果たしてきたいその
[00:07:04] ように考えてるところでございます。はい
[00:07:07] 、以上です。
[00:07:09] はい、どうぞ。
[00:07:13] おはようございます。
[00:07:15] はい、おはようございます。
[00:07:17] あの、無事潜水進化
[00:07:20] 6500の支援保線の横須が
[00:07:22] 6
[00:07:22] 級化それであのえっと新たなあの深海探プラットフォームとして超深海探の新に向けた検
点検討するとこもあります。
[00:07:33] はい。あの、えっとですね、え、深海や
[00:07:37] 超深調査の関成は科学的な発見とかあの
[00:07:40] 子給科学の理解だけでなく国家安全保障上
[00:07:42] のあ、国家の経済安全保障上も重要な気で
[00:07:46] あると思いますけども、あの大臣としてえ
[00:07:50] へのあの意気込みを教えてください。はい
[00:07:53] 。
[00:07:54] え、文部科学省では令和9年度外産要求に

[00:07:57] おきまして海洋研究開発機構ま、ジャム
[00:08:02] ステックが保有する横須の老朽化を踏まえ
[00:08:06] まして深海炭差の新たなプラットフォーム
[00:08:10] となります超深海探査汚染の建造費用計上
[00:08:15] をいたしております。日本の配多的経済
[00:08:18] 水域ENZは面積の約半分が水深
[00:08:22] 4000m
[00:08:24] の深海でございまして、え、深海の探査
[00:08:28] 能力を維持強化することは我が国に取り
[00:08:30] ましても不可欠だと考えております。改定
[00:08:34] の地震火山の発生メカニズムの解明やあ
[00:08:41] 鉱物生物資源の調査など深海探査の意義は
[00:08:46] 極めて高く各国え世界各国においても探査
[00:08:50] 能力を強化して勢力的な取り組みが行わら
[00:08:53] れております。文部科学省といたしまして
[00:08:57] 、超深海探査防災の活用を通じまして、え
[00:09:01] 、科学的成果の創失のみならず、改底個物
[00:09:05] 資源などの経済安全保障にも貢献する深海
[00:09:09] 探査を積極的に推進してまいりたいと考え
[00:09:13] ております。はい、以上でございます。
[00:09:17] はい、どうぞ。
[00:09:23] 新聞よろしく
[00:09:24] お願いします。はい。
[00:09:25] よろしくお願いします。
[00:09:27] 先日PHP
[00:09:28] に重大な性が見つかった問題で学校現場でも授業で使っているデジタル価が一時的に使えなくなるだけ影響がありました。これはデジタル活用の教育現場におけるリスクを再認識させるとあったと思います。
[00:09:42] 現在文科省ではデジタル携帯を含む教科書
[00:09:45] の検定や採択に向けた対応を含めています
[00:09:48] が、こうしたデジタル教科書が
[00:09:50] セキュリティなどの問題で使えなくなる
[00:09:52] 可能性についてどのような私た考えていか
[00:09:55] でしょうか?はい、
[00:09:57] まずあのご指摘の事案につきましてですが
[00:10:00] PHPの脆弱性を踏まえました対応により
[00:10:03] まして、え、現行のデイシャル強科書の
[00:10:06] 閲覧のためのビューを提供する企業7社の
[00:10:11] うし、PHPを利用する一社で緊急
[00:10:14] メンテナンスが行われまして、児童生徒
[00:10:17] 等乱できない時間帯が発生したと承知を
[00:10:20] いたしております。え、あくまで攻撃に
[00:10:23] 備えた予防的な措置でございまして、不正
[00:10:27] アクセスや情報漏洩は確認されていないと
[00:10:30] 承知をいたしております。令和12年度
[00:10:34] から使用されます新たな教科書に、え、
[00:10:38] つきましても子供たちの学習が止まらない
[00:10:41] ようにすることは重要である。そのように
[00:10:44] 認識をしております。え、現在標準仕用の
[00:10:47] 策定に向けた検討を進めているところで
[00:10:49] ございますが、必要なセキュリティ対策に
[00:10:52] ついて標準実装を求める予定といたして
[00:10:55] おります。その上であのデジタル部分が

[00:10:59] 一時的に使用できない場合に学校現場に
[00:11:02] おいて学習を継続できますように、え、
[00:11:05] デイサル部分をあらかじめ印刷
[00:11:08] ダウンロードできる機能が必要であると
[00:11:11] 考えておりまして、え、こちらも標準仕様
[00:11:14] において実装を求めてそのように考えて
[00:11:17] おります。はい。はい。よろしいでしょう
[00:11:21] か?はい。どうぞ。
[00:11:27] あ、NHK
[00:11:28] のです。よろしくお願いします。
[00:11:29] はい。
[00:11:30] 東大の早朝先行の関係で先ほどの質問関連するんですけれども改めてこの問題決着点はどこだっていう風に思われてますか?あの東大が、ま、あの出されている要護所に回答した時なのか何を持って東大が説明責任を果たしたのかその基準っていうのは何かっていう風に考えられてるのかっていうのをもう少ししてお願いします。
[00:11:51] はい。え、今回ですね、また再質問が行われました。
[00:11:56] え、早朝先行観察会議が設定した評価項目
[00:12:00] に基づき何を評価して先行したのか。候補
[00:12:03] 者に対するどのような事実に基づいて評価
[00:12:06] が行われたのか。早朝先行観察会議におい
[00:12:10] て、え、委員の協議や投票がどのように
[00:12:14] 行われたのか、あ、このようなという先行
[00:12:18] の家程などにつきまして改めて説明を
[00:12:20] 求めるような要望がなされたところで
[00:12:24] ございます。で、これらにつきましては
[00:12:26] これまでも私からもどのような客観的な
[00:12:29] 事実に基づきまして候補者を比較検討して
[00:12:33] 今回の判断に至ったのかあ、判断の合理性
[00:12:36] について十分な説明責任を果たして
[00:12:38] いただきたい。
[00:12:40] え、それがまだまだ内部からも外部からも色々質問が出ているような状況でございますので、そこのところ改めてあの私としては説明にもう
[00:12:51] 1
[00:12:51] 度丁寧に、え、果たしていっていただきたいなとそのように申し上げてるところでございます。
[00:12:58] 各からは利用望っていうのは出続けたりするんでの方です。
[00:13:03] ま、そこはもう今後その状況はずっと我々もしっかりと見ていきたいと思っておりまして、え、そうのように考えておる、ま、途中の状況でございます。はい。はい。どうぞ。あ、新の町と申します。よろしくお願いします。え、日の、え、先技術協力に対して昨日の、え、首脳会で発表しました。
[00:13:17] [鼻息]
[00:13:30] 新協力に関する共同点に表権にある
[00:13:33] スイートとドイツのウトプラ3の放射高
[00:13:37] 科学部おける協力が盛り込まれました。え
[00:13:40] 、連携の意義や狙いについてお願いします
[00:13:43] 。また成果文書には他にも、え、所管の
[00:13:46] 技術分野に関する協力のありましたが、え
[00:13:49] 、特に重要だと思われると期待を教えて
[00:13:51] ください。はい。
[00:13:53] [ため息][息をのむ音]
[00:13:54] え、日毒首脳会談の成果文書の1つと
[00:13:57] いたしまして、先端技術協力に関する日族
[00:14:01] 首脳共同宣言、え、これが発出されました

[00:14:04] 。で、放射工学分野におきましては、あ、
[00:14:08] 大型放射施設でございます。スプリング8
[00:14:12] とドイツ放射施設のペトラ3の連携強化等
[00:14:17] が確認されたところでございます。え、
[00:14:20] スプリングエートでは高度化に向けました
[00:14:22] 整備のために、え、来年度あ、後半から約
[00:14:26] 1年間の運転停止期間を予定しております
[00:14:30] 。で、当該停止期間中は大体となります。
[00:14:33] 国内外の施設を最大限活用することが
[00:14:37] 極めて重要と考えております。今回の生活
[00:14:42] 文書も踏まえまして、え、運転停止期間中
[00:14:45] におけます利用機会の確保やあ、施設の
[00:14:49] 行動化に向けまして日族間の連携を強化し
[00:14:52] てまいりたいと考えております。また日納
[00:14:57] 会談の成果文書でございますけれども、
[00:15:01] 宇宙、あ、フュージョンエネルギー、え、
[00:15:05] 研究協力交流等に関する記載もありまして
[00:15:09] 、これらの分野におきましても西国区間の
[00:15:13] 連携がさらに強化されることを期待を
[00:15:15] いたしております。特にフュージョ
[00:15:18] エネルギーにつきましてはモ部科学省と
[00:15:20] ドイツ連邦研究技術宇宙小省との間で日毒
[00:15:24] 共同移行表明書これを11月に締結する
[00:15:28] こととなりました。え、日本[鼻息]と
[00:15:31] ドイツのそれぞれが強みを持つ特定分野
[00:15:34] 協力や人材育成、人材交流などを通じまし
[00:15:38] てフュージョン発電証プラント建設に向け
[00:15:41] た技術開発を日協力を通じまして、え、
[00:15:45] 推進をしてまいりたいと考えております。
[00:15:48] はい。
[00:15:50] はい。よろしいでしょうか?
[00:15:53] はい。はい。どうも。各ろしいでしょうか
[00:15:56] ?はい。では会計ます。はい。どうも
[00:15:58] ありがとうございました。